

子育てを楽しむ生活応援情報紙

あらかわ区報

KIDS きっず

平成21年3月

VOL.4
SPRING

発行 荒川区 1万5000部 〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3 ☎(3802)3111 子育て支援部計画課内線3811 電子メールアドレス:keikaku@city.arakawa.tokyo.jp

ボランティアやサークルってどんなもの？



▲寒くとも子どもは元気に外遊び



区では、育児や家事をサポートしてくれるボランティア、保護者同士で相談しあえるサークルなどを支援して、子育てを応援しています。

ボランティア・サークルの支援をしています

ボランティア

★荒川ボランティアセンター

荒川区社会福祉協議会が運営し、ボランティアの紹介や派遣をしています

●社会福祉協議会 ☎(3802)2794

★35(産後)サポネットin荒川

「産後支援ボランティア」を実施しているボランティア団体です(詳しくは二面に掲載)

★保育園お助け隊

園での遊び指導や花壇の手入れなど、保育園の運営をサポートして下さるボランティアを認定し、支援しています

●各区立保育園または保育課 ☎内線3823

サークル

★子育て支援ネットワーク会議

ボランティア団体やサークル及び区の関係機関で情報交換を行いネットワークづくりを図る場として、区立子ども家庭支援センターで開催しています

●子ども家庭支援センター ☎(3805)5523

★あらかわ「親育ち」支援事業

子育ての悩みや問題を学び、話し合うことを目的としてサークルが実施する講座等に対し、講師・託児謝礼を助成します

●社会教育課 ☎内線3354

★自主グループ活動支援事業

グループ結成1年以内に実施する講座等に対し、講師謝礼等を補助します

●健康推進課 ☎内線432

★あそびサポーター派遣

在宅で子育てをしている親子サークル等に、体操や紙芝居・手あそびなどを教えながら、子育てをサポートします

●町屋ひろば館 ☎(3892)0109

公共施設の無料・減免利用

子ども家庭支援センターやひろば館・ふれあい館等で、登録した団体に対し行っています(各施設へご確認ください)

▲赤ちゃんのお世話をしながらのおしゃべりでリラックス

核家族化や近所付き合いの希薄化に伴い、小さなお子さんのいる保護者の中からは、気軽に相談できる人や同じ歳くらいののお子さんのいる友達がなかなか見つからないという声も聞かれます。少子化で子どもが少なくなり、子どもの安全や健やかな成長に対する不安も増加している昨今、地域が丸となって、地域の中で子どもを育てることはますます重要になっていきます。今回は、地域や学生が協力して実施しているボランティア団体や、区内で活動している子育てサークルなどを紹介します。

ボランティアの力を借りてみよう！

区では、ファミリー・サポート・センター事業や産後支援ボランティアのように、実費程度の利用料でご利用いただける保育支援サービスなど、子育て家庭をサポートしているほか、親同士の自主サークルへのボランティア派遣などを行っています。ボランティアの力を借りて、子育ての負担や不安を軽減しましょう。

子育てサークルに参加しよう！

現在、区内には、自主保育のサークルや歌や手あそびを楽しみながら集まったサークルなど、いろいろなサークルが活動しています。(三面に掲載)

区では、子ども家庭支援センターや保健所等の講座や学級を通して知り合った方たちで自主的にサークルを立ち上げる支援をしています。具体的な支援策としては、活動できる部屋の貸し出しや紹介、講師謝礼などに対する補助、手あそびボランティアの派遣などがありますので、お気軽にお問い合わせください。